

第19期日本学術会議農業総合科学研究連絡委員会の活動と今後の日本学術会議に対する期待  
(第19期の総括にかえて)

2005年6月25日 農業総合科学研究連絡委員会

1. 農業総合科学研究連絡委員会は、日本学術会議第13期(1984年)に立ち上げられた。現在の日本農業の抱える問題は、細分化された個別農学だけでは解決できないという見解に立ち、個別農学を総合化し、かつ政治・経済・社会との連携をもった農業研究の再構築を考える。このような観点から、現在の農学が直面している問題、「農学の統合・総合化の問題」、さらに日本農業が直面している象徴的な問題、「中山間地農業が抱えている問題」を解明し、国内の農業研究者と国民に問う活動を行ってきた。
2. 農業総合科学研究連絡委員会は、シンポジウムおよび出版活動を行ってきた。(下記資料参照)
3. 日本学術会議は第20期に新しい体制に移行し、新しい活動を開始する。それに当たって、農業総合科学の観点にもとづいた活動の推進が重要であると考え。第19期日本学術会議農業総合科学研究連絡委員会は、新日本学術会議において今後も総合的な立場に立った農業科学の継承・発展が図られることを強く期待する。

シンポジウム「農業科学における総合化への道」  
開催の経過

〔第13期〕

「農業科学の特質と専門研究分野間の連携協力」  
(開催日)1986年11月21日 (開催場所)日本学術会議  
講師:坂本慶一, 中島征夫, 貝沼圭二, 小出 進  
「農業における技術・人間・環境」

1987年11月22日 日本学術会議  
講師:鈴木芳夫, 都留信也, 石川武男, 内嶋善兵衛  
「“みどりと人間”を考える」

1989年11月7日 日本学術会議  
講師:酒井憲一, 永田恵十郎, 弘中義夫, 筒井迪夫  
〔第14期〕

「21世紀農業と先端技術のあり方」  
1990年10月26日 日本学術会議  
講師:梶井 功, 中島哲夫, 法橋信彦, 三浦恭志郎  
「農業技術における21世紀に向けての反省と展望」

1991年7月2日 日本学術会議  
講師:佐久間俊雄, 都留信也, 米村純一, 高瀬国雄  
〔第15期〕

「技術と経済から持続的農業の可能性を探る」

1992年11月18日 日本学術会議  
講師:今村奈良臣, 林 健一, 西尾道徳

「農林水産業における資源管理の新たな課題」  
1993年6月10日 三重大学生物資源学部

講師:木谷 収, 飛岡次郎, 松宮義晴, 浦城晋一  
〔第16期〕

「中山間地域の農業問題 農業総合化への道」

1995年2月 日本学術会議

日本林業の課題と展望 南雲秀次郎

中山間地域の水田圃場整備 木村和弘

家族制農業における担い手問題と日本の課題 藤田康樹

中山間地農業はいかに生き残るか 中島征夫

「中山間地域の農業問題 農業総合化への道」(その2)

1996年1月 日本学術会議

中山間市町村の実態と活性化戦略 藤森新作

大家畜畜産による農村景観の保全管理 高橋佳孝

山村における野生動物との共生と被害 山根明臣

新たな農業戦略と

地域農業イントラネットの構築 田上隆一

〔第17期〕

「中山間地域の農業問題 農業総合化への道」(その3):

水源地域としての中山間地

1998年6月 日本学術会議

農業総合化への道

—中山間地のための農学を 大久保忠旦

水源域としての中山間地と森林 太田猛彦

涵養域としての水質負荷問題 増島 博

棚田の役割と保全 長谷川周一

水源林の経済的評価と費用負担問題 矢部光保

「中山間地域の農業問題 農業総合化への道」(その4):

中山間地の価値と暮らし

1999年11月 日本学術会議

中山間地の農業問題 田淵俊雄

ヨーロッパの山間地域

における公的支援の経験 是永東彦

中山間地域等直接支払制度について

—行政の立場から 小風 茂

「山村に吹く風」

—中山間地の住民の立場から 栗田和則

中山間地域の自立的発展のために

—農業工学を学ぶ者として 千賀裕太郎

〔第18期〕

「中山間地域の農業・農村の振興—その多面的な利活用に向けて—」

2001年11月 日本学術会議

中山間地域対策の現状と展開方向 齋藤仁志  
 農業生産力向上への技術課題 石川文武  
 農・林・畜の融合，連携の推進を訴える 菅野 茂  
 人，動物，そして自然のふれあいの場 林 良博  
 「中山間地域農林業のこれから—持続型社会と夢のある  
 生活を求めて」  
 2003年6月 岩手県遠野市  
 21世紀農業は生命総合産業，  
 農村はその創造の場 今村奈良臣  
 豊かな食と新しい環境の創造 近藤恒夫  
 ハピネスな農村生活—癒しの里・遠野— 江川幸男  
 都市と農村の共生—遠野市に期待して— 土屋正忠

トオノピアプランの新展開 岡田秀二  
 〔第19期〕  
 「都市と農山村の共生による新しいライフスタイル」  
 2005年6月 名古屋大学野依記念学术交流館  
 森林における様々なライフスタイル 永田 信  
 心豊かな里作りによる都市住民との交流 高橋幸照  
 食と緑が支える豊かなくらし 林 錡  
 素人たちが再生する山村の暮らしと農林業 丹羽健司

出版  
 1999年までのシンポジウムの成果本として，「中山間地  
 と多面的機能」（農業統計協会，2001）を出版した。